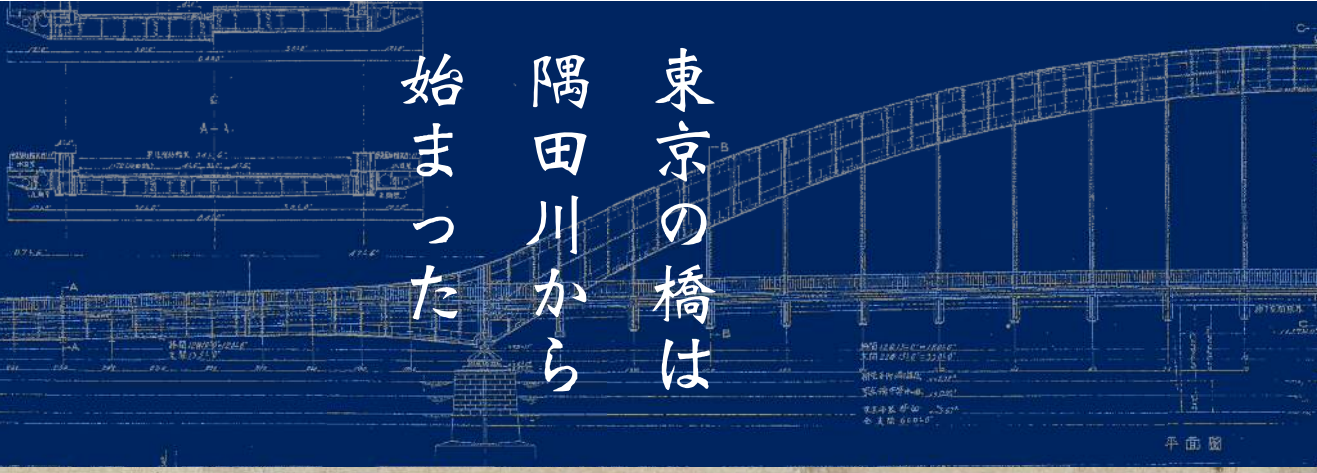


東京の橋は
隅田川から
始まった



東京

橋と土木展

- 隅田川の橋 -

Exhibition : Bridge & Civil engineering of Tokyo

2017. 11.20 Mon. - 11.24 Fri.
新宿駅西口広場イベントコーナー 開催時間 8:00-21:00 [入場無料]
Shinjuku St. west event corner [Admission free]

初日は12時から、最終日は17時まで
主催：東京都建設局
同時開催：土木コレクション2017
お問い合わせ：東京都建設局道路管理課 TEL:03-5320-5295
本掲載橋梁：永代橋

 東京都建設局
TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT
BUREAU OF CONSTRUCTION

東京 橋と土木展

— 隅田川の橋 —

Exhibition : Bridge & Civil engineering of Tokyo

永代橋
市設行附奥村鑿拱
500-00

— 隅田川は橋の「展覧会」 —



明治後期の吾妻橋(1893 楊洲周延作)

隅田川には 35 の橋が架かります。その形は、全て異なることから橋の「展覧会」と呼ばれています。

今年の「東京 橋と土木展」ではこれらにスポットをあて、写真や図面、錦絵のほか、国指定の重要文化財である「永代橋」「清洲橋」「勝鬨橋」の模型を展示します。

また、東京の街づくりに土木が果たした役割を実感して頂くため、「新宿駅」の複雑な通路・地下道を忠実に再現した立体模型と、駅周辺の変遷が分かる地形模型も展示します。

これらを通じて、東京に架かる橋と土木の魅力を体感して頂ければ幸いです。



永代橋(1926 東京大学蔵)



清洲橋(1928 金沢大学蔵)



勝鬨橋(1940 東京都蔵)

国重要文化財「永代橋」「清洲橋」「勝鬨橋」の模型

永代橋の模型は約 90 年前に造られ、東京大学で保管されています。清洲橋の模型も約 90 年前に造られ、金沢大学で保管されています。いずれも、精巧な模型で、土木工学を学ぶ学生の橋梁設計の手本として使用されたものと思われます。勝鬨橋の模型は、今から 30 年程前に開催されたイベントに合わせ製作されたもので、船の航行に合わせ中央の橋桁が開閉する精巧なものです。現在は「かちどき 橋の資料館」で保管・公開されています。



新宿駅

(昭和女子大学田村研究室蔵)

新宿駅立体模型

明治 18 年、日本鉄道により赤羽 - 品川間の路線（現在の山手線）が開設された際に新宿に駅も誕生しました。その後、国有化、私鉄の乗り入れ、震災、戦災復興の歴史を経て、近年では、一日平均乗降者数が世界一多い駅となりました。今年も昨年度に引き続き、昭和女子大学が製作した現在の複雑な新宿駅の 1/100 模型を展示します。



「東京 橋と土木展」当日、東京 2020 大会に向けたメダル協力ボックスを会場に設置します。不要になった携帯電話等の小型電子機器から抽出された金属で、東京 2020 大会の金・銀・銅メダルを製作します。

※回収品目：小型電子機器 9 品目（携帯電話、デジタルカメラ、ポータブルビデオカメラ、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機、ポータブルカーナビ、電子辞書、電卓、上記の付属品（ACアダプター・ケーブル等））

※小型電子機器の個人情報、ご自身で消去等を行ってください。

※取り外しが可能な電池、バッテリー等はあらかじめ外してお持ちください。